

平成 30 年度南海トラフ地震対策に関する調査票

法人名 【社会福祉法人 室戸はまゆう会】 事業所名 【障害者支援施設 むろと・はまゆう園】

1. 自宅被害（津波浸水被害）

※津波浸水地域における被災状況（高知県防災マップが示す最高水位）

被害状況	最大浸水	入所利用者	通所利用者	職員
被害なし		16	6	16
床下浸水	0.5m 以下	0	0	0
床上浸水	1.0m	1	0	5
木造家屋の半数が全壊	2.0m	2	1	3
木造家屋の殆どが全壊	3.0m	2	0	3
2階建ての建物が水没	5.0m 以上	5	0	2
3階建ての水没	10m以上	3	4	5
合計		29	11	34

※通園児童は調査対象から除く

2. 施設被害

※津波浸水地域における被災状況は（高知県防災マップ参照）

- ① 施設建屋の損壊（極めて高い・高い・中・低い）

浸水・・・敷地内浸水被害無し。

建物被害・・・耐震化のため倒壊の恐れはない。しかし、ガラス飛散が想定される。（2重ガラスのため飛散防止フィルムが使用出来ない）

- ② 進入道路等の損壊（極めて高い・高い・中・低い）

被害想定・・・国道より園までの道で3つの橋（弘ヶ谷橋、河内橋、大の川橋）の崩落及び土砂崩れが予想される。その為長期にわたり孤立が予測される。

3. 準備状況（入所利用者30名 職員5名を想定）

- ① ライフラインの確保方法（電気、熱（ガソリン他）、水）有・無

電気	ディーゼル発電機（100V-6.3kw）3台 ガソリン発電機（200V-5.1kw）3台 LPガス発電機（100V-0.9kw）（直流-96w）2台 ガスボンベ発電機（100V-0.9kw）4台 投光器6台 LEDランタン2台 懐中電灯10台 LEDセンサーライト30台
燃料	軽油20ℓ 3缶 ガソリン20ℓ 2缶
ガス	五徳用ガスコンロ2台 ガスボンベ60本

飲料水	貯水槽満水時 15 トン ペットボトル 2リットル 270 本 井戸水（発電機使用にて貯水槽まで流入可能）
生活用水	弘ヶ谷の旧水源地及び室津川より取水できる。

② 非常食糧・医薬品等の保有状況（主食、副食、医薬品、他） 有 ・ 無

主食	アルファ米各 50 食（白米：13 箱 五目ご飯：1 箱 炒飯：1 箱 ドライカレー：1 箱） パン缶：コーヒー 24 缶、黒糖 24 缶	35 人 3 食 7 日分
副食	ラーメン 50 袋 1 箱、水もどりあんもち 1 箱、煮込みハンバーグ 50 袋 和風ハンバーグ 24 袋、温めずカレー 30 袋 5 箱、鯖缶詰フレーク 48 缶 筑前煮 6 缶、けんちん汁 6 缶、おでん 6 缶、鯖みそ煮 48 缶 ひじき煮 48 缶、中華丼の素 48 缶、鰯蒲焼き 60 缶 えいようかん 100 個	
特別食	アルファ米 50 食（白かゆ：1 箱）	
定期薬	入所者：1 週間分 通所者：未整備	
医薬品	応急処置資材を防災倉庫に備蓄。 通常使用する医薬品は医務室にて多めに備蓄。	

③ トイレの準備状況

- ・ポータブルトイレ 5 台 簡易トイレ 50 セット（今後購入予定）

④ 通信手段（無線機、衛星電話機、安否確認システム、他） 有 ・ 無
種類・メーカー・電話番号等

衛星電話	有り ドコモ
MCA 無線	なし
無線機	なし
安否確認システム	なし
その他	トランシーバー 2 台 171 災害伝言ダイヤル

⑤ 利用者情報の管理方法（障害に対する留意事項、服薬含む） 有 ・ 無
紙資料にて BCP 内に保存

⑥ BCP 策定の有無（利用者の安否確認含む） 有 ・ 無
策定済

⑦ おすすめの備蓄品、整備品（簡単に理由もご記入下さい）

残念だった備蓄品、整備品

・味噌と水を加える必要があった「残念」な品は〇ル食品 汁1号館 3kg(約12人～20人分)の豚汁です。具の缶詰でした。

4. 避難場所

・火災発生がない場合・・・施設内食堂 火災発生時・・・地域交流ホーム

5. 福祉避難所の指定

・受けている

・受けていない

①福祉避難所の指定を受けている場合、福祉避難所の開設や運営に関する訓練や取り決めがあればご記入下さい。

・まだ訓練は行っていません。

・マニュアルは策定していません。

以上